

コマ:4

事業名:下水道におけるPPP/PFI導入に向けた検討経費

外部有識者の主なコメント

- アウトカム（モデル都市の支援で得られたノウハウの共有）について、どのような方法で周知や情報共有を図るのかを明らかにすべき。
- 小規模自治体におけるコンセッションの成功事例を作るよう支援の重点化があっても良いのではないか。
- 広域化がPPP/PFIの前提条件になるのではないか。
- 未導入団体が導入を予定していない理由にしっかりと対応する方策を今後検討すべき。
- 事業全体の財務体質を適正に開示すべき。
- 「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」を幾度も開催している点は評価できる。
- 事業者対象の説明会等も必要ではないか。

とりまとめ結果

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

- ・ 下水道事業へのコンセッション方式の導入について、既に事業開始された事例のノウハウを横展開する効果的な方法を検討すべき。
- ・ PPP/PFIを進める前提として、下水道の広域化の取組を進めるべき。
- ・ また、コンセッション方式の導入を予定していない地方自治体におけるボトルネックを正確に把握し、それに基づく施策をしっかりと検討すべき。
- ・ さらに、汚水処理の使用料金をはじめ、事業全体の経営状況を地元住民等が正確に理解できるように見せるべき。

(廃止0名/事業全体の抜本的な改善0名/事業内容の一部改善5名/現状通り1名)